

2017年11月6日

報道各位

日本歯磨工業会

2017年度 歯と口の健康週間企画 第17回標語募集表彰式  
最優秀賞 「歯みがきは『あ』の口『い』の口『あい』込めて」

日本歯磨工業会（会長 濱田和生）では、2001年より毎年「歯をみがくことの大切さ」をテーマにした標語を全国の皆さまから募集しています。17回目となった本年度は、「歯と口の健康週間」に名称が変更されて5年目になり、この名称の浸透と、「歯の大切さ、口の健康の大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに、日本歯磨工業会のホームページを通して、4月1日～6月30日の3ヶ月間にわたって募集しました。応募作品数は、16,058作品と過去最多のご応募をいただきました。

ご応募いただいた作品は、当工業会の広報委員会で審査を行い、最優秀賞・優秀賞・ユニーク賞・ファミリー賞・佳作の26作品とキッズチャレンジ賞（小中学生対象）6作品を選出し、最優秀賞「歯みがきは『あ』の口『い』の口『あい』込めて」の作者・中桐裕子さん（岡山県倉敷市在住）の表彰式を10月31日（火）、倉敷市で行いました。

表彰式には、日本歯磨工業会 専務理事・岩崎哲也、同 広報委員長・鈴木久美子（サンスター株式会社）が出席し、鈴木広報委員長より、表彰状と賞金が中桐さんに手渡されました。

中桐さんは「歯みがきってどんなことだったかな、とあらためて考えた時、子どもたちが小さい頃に仕上げみがきをしていたことが頭に浮かび、その時の情景を標語にしました」と作品の背景を語ってくれました。

中桐さんの作品は、当工業会ホームページに掲載するなど当工業会の標語として幅広く活用します。なお、優秀賞をはじめとするその他の受賞作品も力作揃いです。ぜひ、下記のホームページをご覧ください。

◆日本歯磨工業会ホームページ 第17回標語募集 入選標語作品 紹介ページ

[http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/campaign/hyogo\\_kekka17.shtml](http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/campaign/hyogo_kekka17.shtml)

◆本件のお問い合わせ先：日本歯磨工業会 岩崎哲也 TEL 03 (3249) 2511

---

日本歯磨工業会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4 三報ビル 7F TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513

<参考資料>

◆表彰式の模様

10月31日（火）、倉敷市内で行われた表彰式には、最優秀賞の作者、岡山県倉敷市在住の中桐裕子さんにおいでいただきました。

中桐さんは、

「この標語は、歯みがきとはどんなものかとあらためて考えた時に、子どもたちが小さい頃に毎日していた仕上げみがきの情景を思い出して作りました。口を『あー』にして、『いー』にして、と言いながら子ども達の歯をみがいていました。子どもの歯をみがくのに『愛（あい）』を込めない人はいませんよね。

子どもたちも大きくなり、歯みがきもそれぞれにまかせるようになりましたが、いつまでも自分の歯で食べることは大切だと思っています。普段は液体ハミガキを使っていますが、口の中の隅々まで液体が行き渡っていて効果を感じます。

今回の受賞は、思ってもみなかったもので、連絡をいただき『えっ!』という感じでした。家族は、普段、パソコンやスマホを使わない私がスマホを使って標語募集に応募したことに驚いていました。」

と受賞の喜びを語ってくれました。



中桐裕子さん、鈴木広報委員長